

◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：つるがしま緑のカーテン市民実行委員会（愛称：みどりかぜ）

代表者：会長 前田 則義

URL : http://towntip.jp/tsurugashima/sns/cr.php?bbs_id=686

1. 活動が必要とされた状況

緑のカーテンは、夏の暑い日差しを和らげ、エアコン等の電力の省エネやヒートアイランド現象対応に効果があり、温暖化対策の一ツールとして注目されております。東日本大震災以来、省エネ・節電が叫ばれています。緑のカーテンはどなたでも簡単に作れ、間接的に省エネ・節電効果が期待され、また癒し効果や収穫物の楽しみもあり多くの市民に参加していただき、微力ではありますが温暖化対策に寄与したい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ①毎月第3火曜日に「みどりかぜ会議・意見交換会」を開催。毎回10名程が参加。
- ②種から苗の育成講習会を開催。（4月6日、8名）花と緑の会会長から育成のコツを伺う。
- ③緑のカーテン苗の配布。（6月8日、約400名）市役所にて苗（ゴーヤ：1400、ヘチマ：400、小玉スイカ：300、小型メロン：300）本等を市民へ配布、また苗育成講習会を開催した。ゴーヤ、小玉スイカ、小型メロンは元気な苗を購入。ヘチマは種からメンバーが育成した。



- ④サイサン環境保全基金中畝事務局長がカーテン視察に来られ撮影された鶴ヶ島第一小学校の緑のカーテンの写真が、平成27年度助成申請募集ポスターに採用。（8月6日、4名）

- ⑤2010年度から毎年「つるがしま緑のカーテンコンテスト」を開催し、本年第5回を実施。表彰式は、藤縄市長をお迎えし市役所で開催。（12月17日、約50名）



3. 活動の成果

- ①市と緑のカーテン苗を協力確保し、学校、公民館、保育園等での緑のカーテンも普及し、省エネ・節電意識が広がっている。
- ②苗配布時、ボランティア活動の実践体験で城西大学の学生さんが参加協力。今後の活動協力を期待。
- ③苗配布時に開催したみどりかぜ会員による「苗育成講習会」には、62名の市民が来られ会議室は満席で大盛況であった。

4. 今後に残された課題

- ①緑のカーテン用の蔓性苗（ゴーヤ、ヘチマ、西洋朝顔等）の継続的配布。
- ②小中学校、公民館、保育園等への緑のカーテン育成支援。
- ③緑のカーテンは、市民の出来る温暖化対策として大きなムーブメントに展開したい。